

浦添市の家計簿

平成30年度上半期財政状況（平成30年9月30日現在）

浦添市の家計簿は、予算の執行状況や市有財産の状況、市の借入金等を中心に年2回公表しております。

人口	114,250人
男	55,683人
女	58,567人
世帯数	49,373世帯
面積	19.48km ²

一般会計予算執行状況

歳出科目	予算現額		支出済額	
		構成比	()内は人件費	執行率
民生費	233億6,612万円	43.8%	128億7,825万円 (4億7,521万円)	55.1%
総務費	96億4,879万円	18.1%	24億1,550万円 (9億7,391万円)	25.0%
土木費	84億 250万円	15.7%	41億 562万円 (2億4,145万円)	48.9%
教育費	50億2,403万円	9.4%	33億1,725万円 (5億1,901万円)	66.0%
公債費	28億6,086万円	5.4%	13億7,356万円 (0円)	48.0%
衛生費	22億9,783万円	4.3%	11億8,213万円 (1億3,181万円)	51.4%
消防費	8億8,907万円	1.7%	4億2,141万円 (3億6,166万円)	47.4%
商工費	2億3,716万円	0.4%	1億4,610万円 (3,303万円)	61.6%
農林水産業費	1億2,603万円	0.2%	6,044万円 (1,421万円)	48.0%
その他	5億3,283万円	1.0%	2億3,863万円 (1億7,526万円)	44.8%
総額	533億8,520万円	100.0%	261億3,889万円 (29億2,555万円)	49.0%

※各項目の合計と総額の相違に関しては、端数処理による。

●市民一人当たりに使われる主な経費

- ・民生費 204,517円 (生活保護、児童・母子・障がい者・老人の福祉増進など)
- ・土木費 73,545円 (道路・街路・公園の建設・整備・維持管理など)
- ・教育費 43,974円 (学校の管理・運営・増改築など)
- ・公債費 25,040円 (借入金の元金・利子など)
- ・衛生費 20,112円 (病気の予防・ごみ処理・公害対策など)

●市税の徴収状況(9月末時点)

	本年度課税分		滞納繰越分	
		徴収率		徴収率
収入済額	83億3,253万円	59.1%	8,079万円	22.5%
徴収すべき金額	141億 157万円		3億5,895万円	

各会計予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	執行率
一般会計	533億8,520万円	205億4,056万円	261億3,889万円	49.0%
国民健康保険	130億5,081万円	57億7,910万円	64億1,543万円	49.2%
土地区画整理事業	34億2,555万円	7億9,454万円	13億5,553万円	39.6%
公共下水道事業	21億8,195万円	6億8,741万円	9億3,143万円	42.7%
介護保険	74億8,948万円	32億8,479万円	29億2,444万円	39.0%
後期高齢者医療	10億9,800万円	5億2,667万円	4億2,039万円	38.3%
水道事業会計				
収益的収入	26億6,166万円	12億4,677万円		46.8%
収益的支出	25億6,410万円		8億7,568万円	34.2%
資本的収入	1億 881万円	0万円		0%
資本的支出	7億6,134万円		3億7,124万円	48.8%

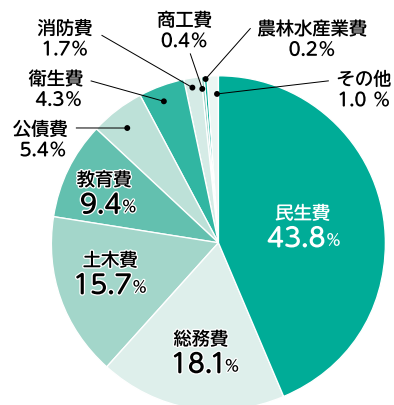
●市の借入金(9月末現在)

借入現在高	390億7,720万円
市民一人当たりの借金	34万円
一日当たりの支払利子	106万円

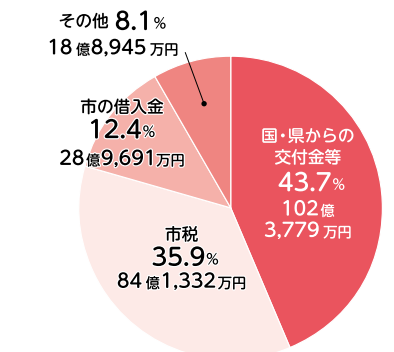
●一時借入金の状況(9月末現在)

一般会計	0円
国民健康保険特別会計	0円
介護保険特別会計	0円
公共下水道事業特別会計	0円
土地区画整理事業特別会計	0円
水道事業会計	0円

●一般会計の主な支出



●一般会計の主な収入



市有財産の状況



土地
1,905,748m²



建物
292,782m²



基金
112億2,556万円



有価証券
7億8,450万円

特集 人と動物がともに幸せに暮らせるために



いつまでもずっと一緒に。

ペットを飼う前に考えてほしいこと

捨てる理由の中には少し考えたら防げるケースもあります。

まずは、飼う前に自分が「責任をもって最期まで世話をすることができるのか」考えてみてください。

家族の一員だよ



毎日の世話

ペットの世話に手間と時間をかけられますか。家族全員がしつけや世話に協力してくれますか？



費用

ごはん代やペット用品、医療費などにお金をかけることができますか？

ペットの寿命

高齢になったペットの世話や介護のことを考えて、最後まで飼い続けることができますか？

万が一のとき

地震や洪水など災害時や万が一あなたが飼えなくなったとき、ペットの命を守る方法がありますか？

周囲への配慮

鳴き声やふんの放置などで近隣に迷惑をかけるようにできますか？

まず連絡するところは？

- 浦添市環境保全課 ☎(876) 1234(内線 3216)
- 沖縄県動物愛護管理センター ☎(945) 3043
【電話受付時間】平日:午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分
※ホームページでも収容状況の確認ができます。
- 逃げた場所、近くの警察署 浦添警察署 ☎(875) 0110

大切な家族の一員が迷子になってしまったら…

動物たちにとって屋外は、交通事故や感染性の病気などさまざまな危険があふれています。万が一迷子になってしまった場合、動物愛護センターに収容され、最悪の場合、収容期限が過ぎて殺処分になることも考えられます。収容期間は原則7日間なので、早急に連絡、こまめに問い合わせをし、情報を確認してください。

日頃から犬には鑑札、注射済票、迷子札を。猫には迷子札、そして、犬猫ともに首輪の裏にも連絡先（飼い主さんの名前、電話番号）を書いておくことで大切な家族の一員を守ることにつながります。

目の前の命を大切に

耳やしっぽを振り全身で嬉しさを表現したり、飼い主の元気がないときに寄り添ってくれたり、愛らしい表情を見せて私たちの生活に潤いや安らぎを与えてくれる動物たち。命ある存在だからこそ、かわいというだけの理由で動物は育てられません。動物を育てるためにはお金も時間もかかるもの、最期まで面倒をみる責任と覚悟が必要です。

人のそばで安心して暮らすのか、外で自由気ままに暮らすのか…どちらが動物たちにとって幸せなのかはわかりません。ただ、どこにいたとしても殺処分されていい命はありません。動物たちが幸せに暮らせるよう、一人一人が目の前の命を大切にしたいと思います。

